

視点

令和8年度診療報酬改定 「今後の道標となる改定」

中医協が令和8年度診療報酬改定を答申した。3・09%という近年なかった高い改定率を財源に、物価・賃金対応を行う。医療提供体制に関わる見直しは、新たな地域医療構想との整合性を意識した改定となった。人手不足の中で、ICT機器等による業務改善を図れば、人員配置基準を緩和するなど新たな評価の視点もあった。

非常に幅広い内容を含む改定内容であるが、財源規模の観点では、やはり物価・賃金対応が大きい。日本医師会の松本吉郎会長は、答申日の2月13日の会見で、「イン

フレ下での今後の道標となる極めて重要な改定」と指摘。厚労省保険局の林修一郎医療課長は昨年8月の講演で、病院の経営危機に対し、「従来と同じ改定をやっても仕方がない」と問われ、「医療界の期待はまさにその部分だと感じている」と応えていた（本誌9月21日号の『レコダー』）。

病院の賃上げについては、令和6年度改定で新設したベースアップ評価料の分を基本診療料に溶け込ませ、令和8・9年度の賃上げに対応するための新たな水準でのベースアップ評価料を設定した。

物価対応では、物価高騰による経費増の影響に対し、医療機関の規模やコスト構造に応じて、適切に財源が配分されるように、改定の区分が設けられた。それに従って、物価対応料を新設し、初・再診療や入院料ごとに異なる点数を設定した。令和6・7年度で医療機関の経営が悪化したことを踏まえた緊急対応も実施された。

さまざまな要求に緻密な制度設計で対応した令和8年度改定は、多くの関係者の納得を得ていると感じる。ただそれも、日本経済の動向と医療現場の動き次第である。

社会保険旬報

目次

No.2992 2026年3月1日

視点

令和8年度診療報酬改定
「今後の道標となる改定」 3

座標

首相が社会保障と税の一体改革を検討
支え手の増加と攻めの予防医療の方針 4
厚労省保険局などが重点施策を説明
日慢協が8年度診療報酬改定を評価 5

動向

中医協の改定答申で診療側と支払側が
改定に関して会見
—令和8年度診療報酬改定 6

論評

依存症を〈診ない〉から〈つなぐ〉医療へ：
一般医療機関が果たしうる役割と可能性
(下) ギャンブル等依存症、インターネット・ゲーム障害等

猪口和美 齋藤暢紀
西下陽子 今中雄一 ... 12

霞が関と現場の間で⑦

総選挙が終わって 17

潮流

令和8年度診療報酬改定の歯科医療 18
令和8年度診療報酬改定の調剤報酬 20
令和8年度診療報酬改定の訪問看護 22
地域フォーミュラを適正化計画に記載 ... 24
筋ジスの遺伝子治療薬を薬価収載 26
医療分野の業務効率化等支援事業 27

NEWS

日病が新たな地域医療構想
GLに対して意見書 等 28

年金の動き 31

資料

令和8年度診療報酬改定個別改定項目
について（業務効率化の取組等） 38

療養の給付の取扱いについて 41

編集室・ワードカプセル 42